

## 経営革新計画フォローアップ調査

(平成26年10月から平成29年9月までに計画を承認し、令和元年10月現在も計画期間中の企業)

本調査は、中小企業等経営強化法に基づく経営革新計画承認企業(組合等を含む)の経営の実態をフォローアップし、今後の指導・助言、今後の支援のあり方について検討するための資料とすることを目的としています。

なお、本調査の記載事項については、守秘義務を厳守し、目的外に使用することはありません。

整理番号	〇〇〇〇
企業名	茨城商店
所在地・TEL	水戸市笠原町978-6 ・ 029-301-3560
業種	大分類： <u>1 卸売業，小売業</u> 小分類： <u>60 その他の小売業</u>
計画テーマ名	〇〇〇〇
計画期間	H〇〇.〇～ H〇〇.〇(〇年)
支援機関	〇〇〇〇
担当者名	〇〇〇〇

※記載内容に修正があった場合には朱書きで調査票に記載されている事項を記入してください。

### 問1. 事業の進捗状況について

現在の計画の進捗状況はどれですか。該当するものに○印をつけて下さい。(○は1つ)

1 試作品(新サービスを含む)を開発中	4 事業として成立している
② 試作品ができ、製品として開発中	5 製品開発・事業化を断念した
3 製品が完成し、販路開拓または販売中	6 その他( )

## 問2. 事業計画との比較について

問1. で回答した現在の進捗は、計画と比較してどのような状況にありますか。該当するものに○印をつけて下さい。(○は1つ)

- |  |                 |
|--|-----------------|
| 1 計画以上の進捗である                                 | 3 計画よりもやや遅れている  |
| <input checked="" type="radio"/> 2 ほぼ計画通りである | 4 計画よりも大幅に遅れている |

## 問3. 達成見込みについて

今後、実施項目(申請書別表2)及び付加価値額\*(申請書別表3)が計画通り達成できますか。該当するものに○印をつけて下さい。

・実施項目

1. 計画通りできる。(理由 **新商品の開発を予定どおり行えた。**) )

2. 計画通りできない。(理由 )

・付加価値額 \*付加価値額 = 営業利益 + 人件費 + 減価償却費

1. 計画通り伸びる。(理由 )

2. 計画通りではないが伸びる。(理由 **雇用数が予定より減少する見込み。**) )

3. 計画通り伸びない。(理由 )

## 問4. 経営計画の進捗状況について

(1) 計画前の直近期末と平成30年度(平成30年4月1日～平成31年3月31日)中に迎えた決算を比較して、経常利益\*の伸び率は、年率1%以上を達成していますか。該当するものに○を付けて下さい。

\*経常利益 = 営業利益 - 営業外費用(支払利息・新株発行費等)

<input checked="" type="radio"/> 1 達成	2 未達成(0~1%)	3 未達成(0%未満)
---------------------------------------	-------------	-------------

(2) 計画前の直近期末と平成30年度(平成30年4月1日～平成31年3月31日)中に迎えた決算を比較して、付加価値額\*の伸び率は、年率3%以上を達成していますか。該当するものに○を付けて下さい。

\*付加価値額 = 営業利益 + 人件費 + 減価償却費

1 達成	<input checked="" type="radio"/> 2 未達成(0~3%)	3 未達成(0%未満)
------	--	-------------

(3) 計画前の直近期末と平成30年度(平成30年4月1日～平成31年3月31日)中に迎えた決算を比較して、従業員一人当たりの付加価値額\*の伸び率は、年率3%以上を達成していますか。該当するものに○を付けて下さい。

\*一人当たり付加価値額 = (営業利益 + 人件費 + 減価償却費) / 従業員数

<input checked="" type="radio"/> 1 達成	2 未達成(0~3%)	3 未達成(0%未満)
---------------------------------------	-------------	-------------

## 問5. 従業員の雇用状況について

次の各時期における従業員数を記入して下さい。

※従業員数には、人件費の対象となる「常時業務に従事する役員」を含めてください。

※非正規の従業員（派遣労働者や短時間労働者）については、経費を付加価値額の人件費に算入している場合のみ、勤務時間 8 時間あたり 1 人として算入して下さい。

計画開始前の直近期末（実績値） ※別表 3 ⑬ 従業員数の人数を記入		5 人
H30 年度（H30.4.1～H31.3.31） 中に迎えた決算時 （計画期間中 <u>2</u> 年目の決算時） ↑ 記入して下さい	計画値 ※別表 3 ⑬ 従業員 数の人数を記入	6 人
	実績値	5 人

## 問6. 活用した支援策について

以下に示した支援策について、「活用した」、「希望していたが活用できなかった」、「活用しなかった」、「そもそも知らなかった」の欄に○印をつけて下さい。

	活用した	希望して いたが活 用できな かった	活用しな かった	そもそ も知らな かった
1 日本政策金融公庫からの低利融資 （金融機関名：日本政策金融公庫○○支店）	○			
2 信用保証の別枠			○	
3 県制度融資 （金融機関名：○○銀行○○支店）		○		
4 特許審査請求料の減免措置				○
5 特許料の減免措置				○
6 ものづくり補助金の加点措置 ※補助金の申請をしたものの、採択されな かった場合についても「活用した」に○ 印をつけて下さい			○	
7 その他の支援策 （支援策名：）				

## 問7. 経営革新計画承認制度について

経営革新計画に取り組んで良かったと思う点は何ですか。次の選択肢の中から該当するものにいくつでも○を付けてください。

### (1) 資金調達

① 政府系金融機関による低利・長期融資が受けられた。	○
② 政府系金融機関からの融資が受けやすくなった。	○
③ 民間金融機関からの融資が受けやすくなった。	
④ 借入枠や保証枠が広がった。	
⑤ 金融機関への信用力が向上した。	
⑥ その他( )	

### (2) 技術力・開発力

① 計画を立てる方法がわかった。	
② 客観的評価が可能になった。	○
③ 自社の新製品を開発することができた。	
④ 対外的信用が増し、新たな取引先が確保できた。	○
⑤ その他( )	

### (3) 知名度・信用度・顧客満足度

① 知名度・信用力が向上した。	○
② 宣伝、営業が行いやすくなった。	
③ 問い合わせが多くなった。	
④ 新規取引先が増えた。	○
⑤ 大手企業との取引が可能となった。	
⑥ その他( )	

### (4) 経営全般

① 社内の意識が向上した。	
② 役割分担や責任等が明確になった。	○
③ 中・長期計画の立案が可能となった。	○
④ 計画の実行性が増した。	
⑤ その他( )	

### 問 8. 専門家による無料相談の実施について

県では、経営革新計画を策定した企業のフォローアップを目的として、専門家による無料相談を実施しています。計画を実施していくうえで、何らかの課題が生じており、専門家からのアドバイスを希望される場合は、以下に必要事項をご記入ください。

専門家派遣の内容	
1. 派遣期間	原則として1日間
2. 派遣時期	令和元年10月～令和2年2月（後日、日程を調整します）
3. 派遣対象	専門家派遣を希望する中小企業のうち、県が認めるもの
4. 相談内容	現状分析や課題解決に向けた指導、助言

●御社における専門家の派遣希望の有無について、以下の該当する項目に○を付けてください

※派遣の可否については、後日書面にてご連絡いたします。

**1** 希望する                      (2) 希望しない

派遣を希望する場合は、以下も回答願います。

#### ① 派遣希望理由

**A**. 経営革新計画に関すること（進捗状況へのアドバイス、計画の見直し等）

相談内容  
※可能な限り具体的に記載願います（派遣の可否及び派遣専門家を決定するうえでの判断材料となります）

B. 技術、販路、資金に関すること（支援施策の活用、販路開拓、資金調達等）

相談内容

C. その他  
 相談内容

#### ② 派遣希望時期（例：〇月～〇月頃）

（ 11月～12月頃 ）

#### ③ 希望する専門家（任意記載）

（                                      ）

※ご希望の専門家を派遣できない可能性がございますのでご了承下さい。

#### ④ その他要望事項等

ご協力ありがとうございました。